

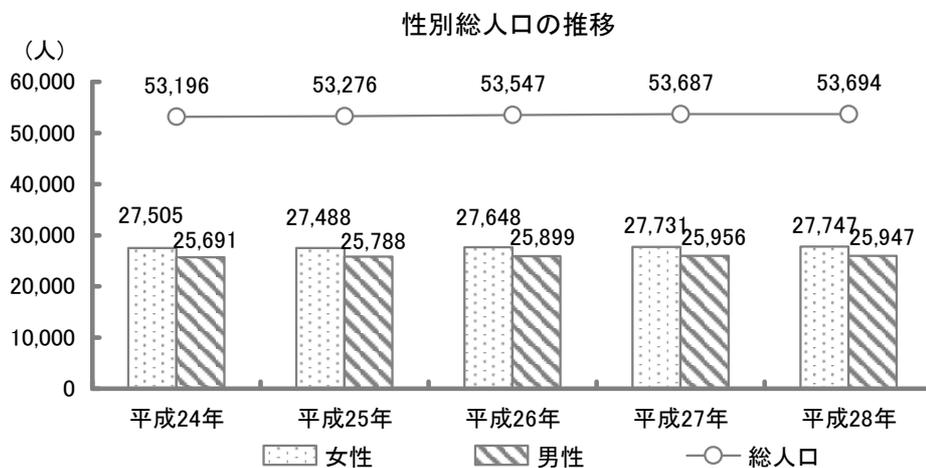
第2章

岩出市の男女共同参画を取り巻く現状

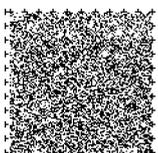
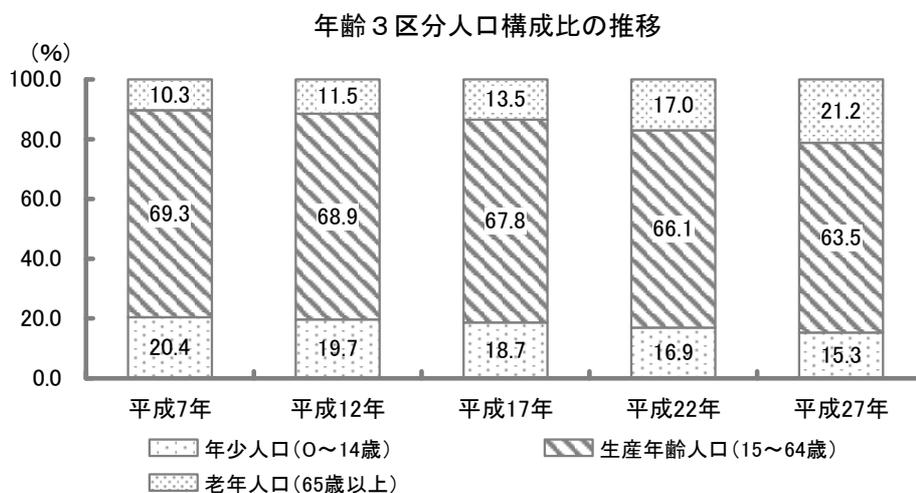
1 統計データから見える岩出市の現状

(1) 人口の状況

岩出市の総人口は、平成24年から平成28年の5年間で約500人増加しています。人口を男女別にみると、男性よりも女性が多い傾向で推移しています。



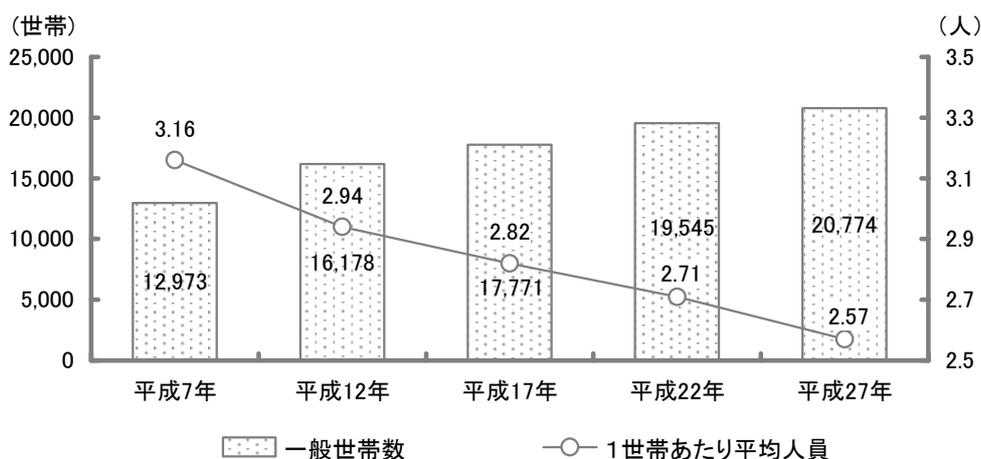
年齢3区分人口構成比の推移をみると、年少人口（0～14歳）の割合が減少し、老年人口（65歳以上）の割合が増加しています。このことは、生産年齢人口の減少も示しています。



(2) 世帯の状況

一般世帯数は増加を続けており、平成7年から平成27年の20年間で約7,800世帯増加しています。一方で、1世帯あたり平均人員は減少を続けており、平成27年で2.57人となっています。

一般世帯数と世帯人員の推移

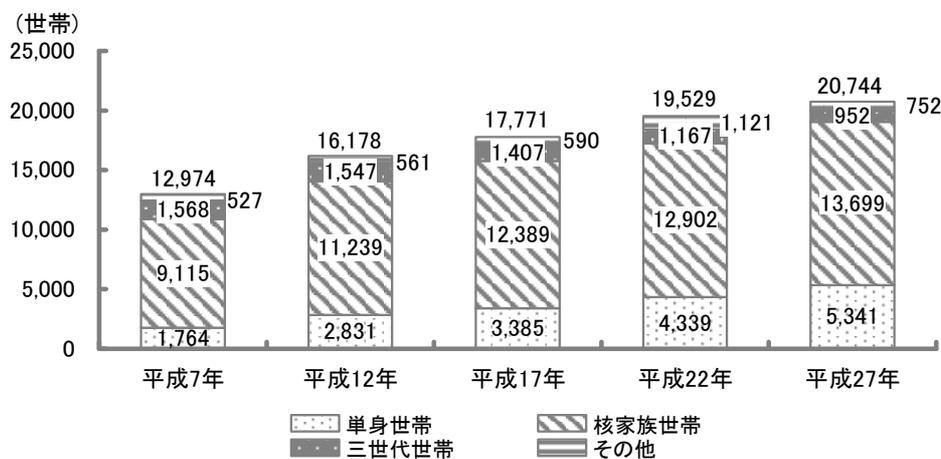


資料：国勢調査

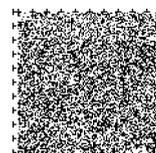
世帯区分の推移をみると、一般世帯数の増加に伴って、核家族世帯や単身世帯が増加しており、平成27年には、平成7年に比べ核家族世帯が約1.5倍、単身世帯は約3.0倍となっています。

一方、三世帯世帯は減少しており、平成27年には952世帯となっています。

一般世帯数と世帯区分の推移

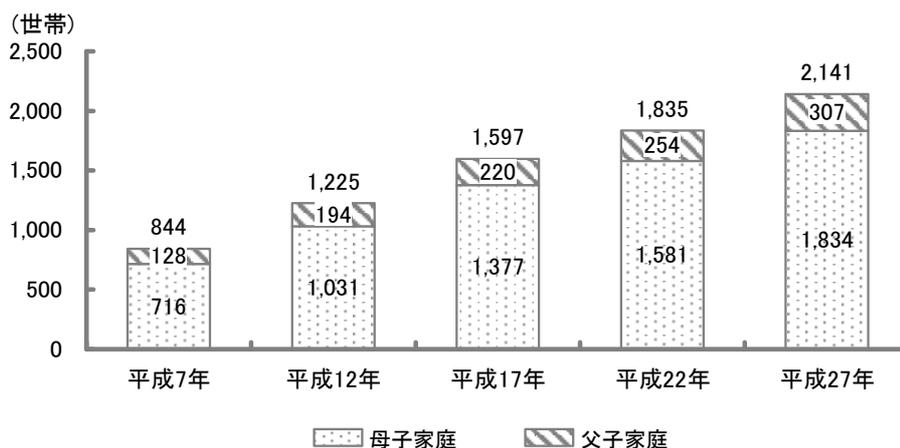


資料：国勢調査



ひとり親家庭の推移をみると、母子家庭、父子家庭ともに平成7年から増加しており、平成27年では、母子家庭は1,834世帯、父子家庭は307世帯となっています。

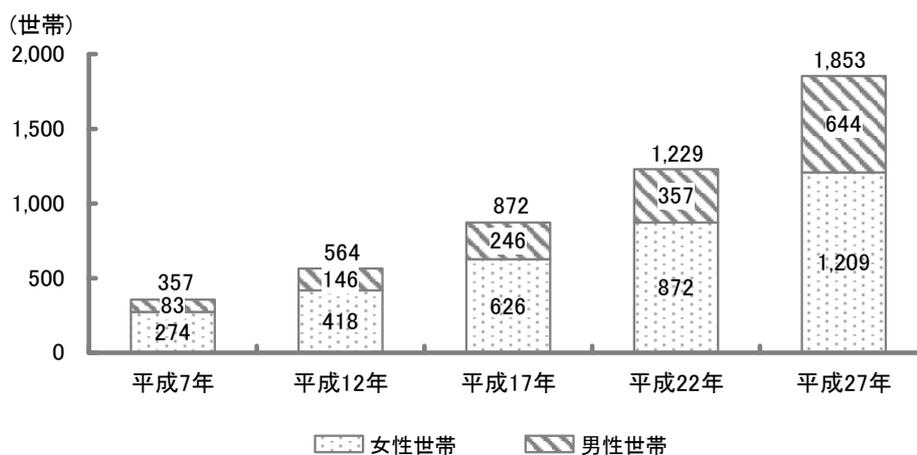
ひとり親家庭の推移



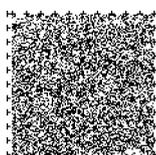
資料：国勢調査

高齢者単身世帯の推移をみると、年々増加しており、平成27年には1,853世帯となっています。

高齢者単身世帯の推移



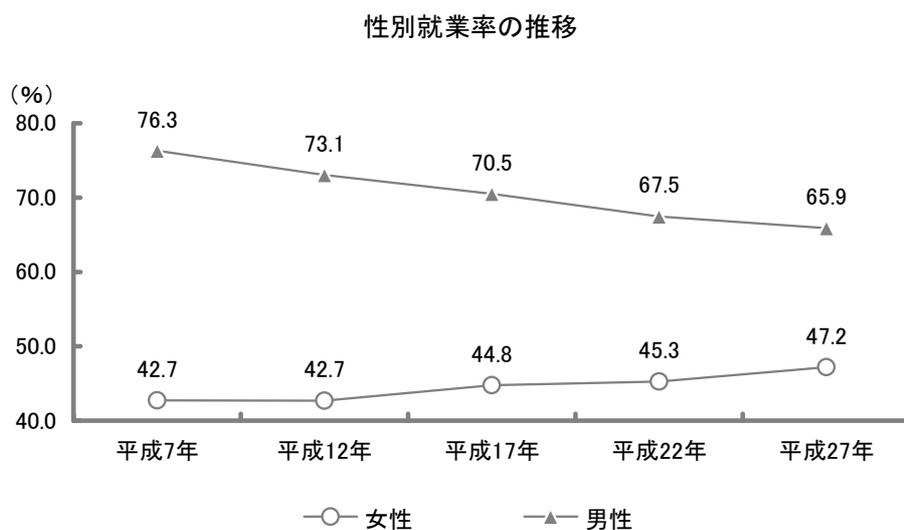
資料：国勢調査



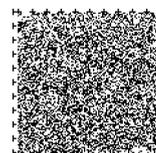
(3) 就労の状況

性別就業率の推移をみると、女性の就業率は平成7年から4.5ポイント増加し、平成27年では47.2%となっています。

また、男性の就業率は平成7年から10.4ポイント減少し平成27年では65.9%となっています。

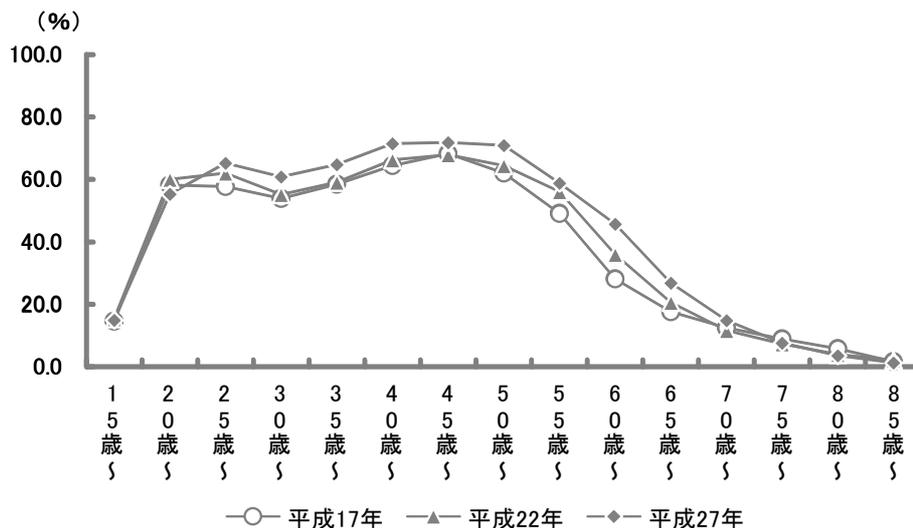


資料：国勢調査



女性の年齢別就業率の推移をみると、30歳代を底とする就業率の落ち込み（M字カーブ）は、平成27年にかけて緩やかになっています。

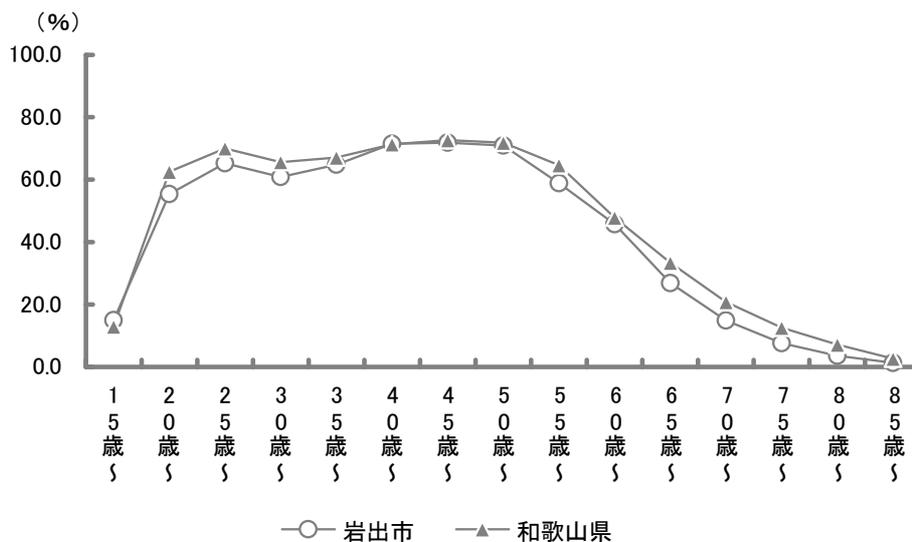
女性の年齢別就業率の推移（岩出市）



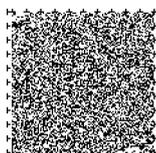
資料：国勢調査

しかしながら、県と比較するとM字カーブは、岩出市が大きくなっています。

女性の年齢別就業率の比較
(平成27年 岩出市・県)



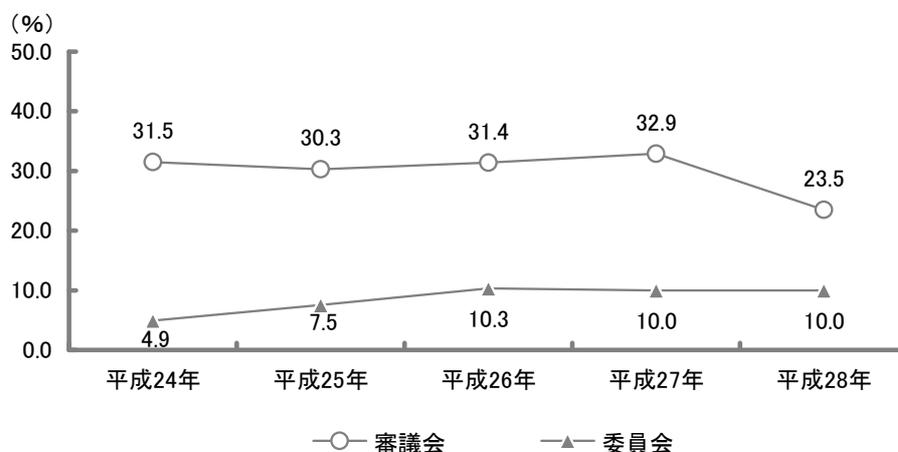
資料：国勢調査



(4) 政策・方針決定過程への女性の参画状況

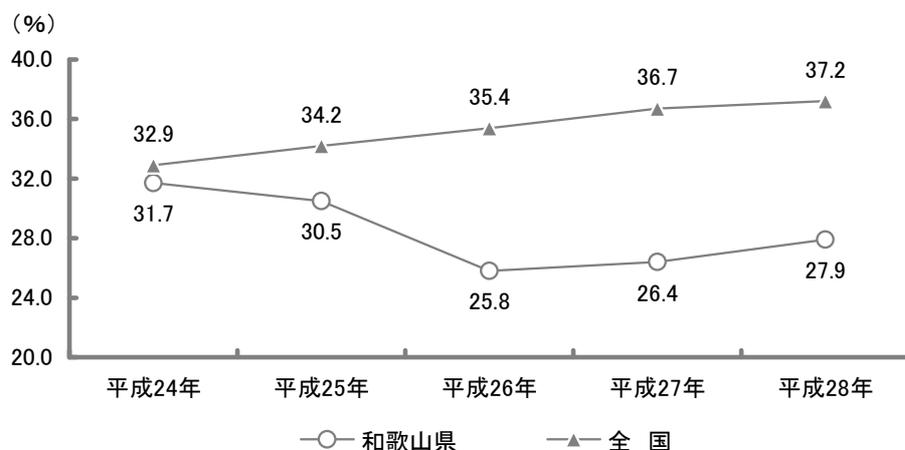
地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条の5に基づく委員会等の女性委員の割合の推移は、やや上昇傾向にあります。同法第202条の3に基づく審議会等においては、平成28年には23.5%と減少しています。

審議会等における女性委員の割合の推移（岩出市）

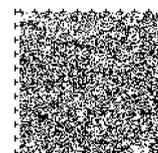


資料：内閣府 地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況

審議会等における女性委員の割合の推移（県・国）



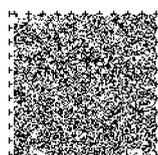
資料：和歌山県青少年・男女共同参画課（和歌山県）
内閣府 国の審議会等における女性委員の参画状況（全国）



審議会等の女性の登用の内訳

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

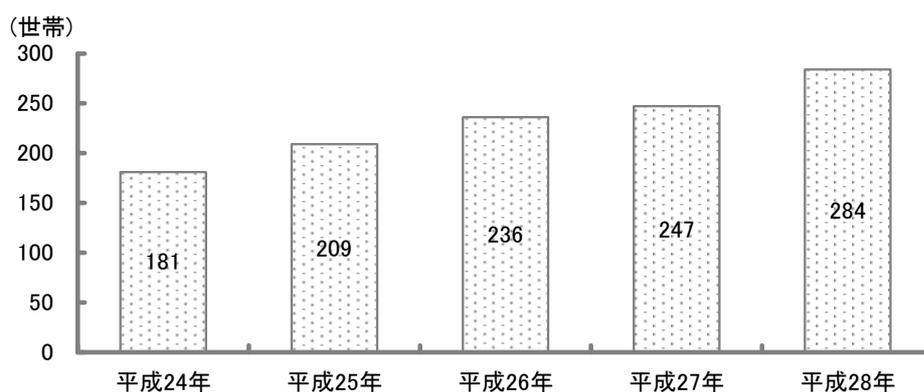
	審議会等名	委員総数 (人)	うち女性 委員数(人)	女性の割合 (%)
1	防災会議	28	1	3.6
2	民生委員推薦会	10	3	30.0
3	介護認定審査会	15	1	6.7
4	公民館運営審議会	7	5	71.4
5	社会教育委員会	8	2	25.0
6	スポーツ推進審議会	20	7	35.0
7	図書館協議会	10	5	50.0
8	地方文化財保護審議会	6	0	0.0
9	都市計画審議会	10	1	10.0
10	国民保護協議会	20	0	0.0
11	介護保険運営委員会	12	4	33.3
12	岩出市上水道事業運営 審議会	10	4	40.0
13	環境をまもる審議会	17	3	17.6
14	岩出市消防委員会	13	3	23.1
15	情報公開個人情報保護 審査会	5	1	20.0
16	学校給食運営委員会	26	12	46.2
17	障害支援区分認定審査会	4	0	0.0



(5) 男女の健康づくりや生活支援の状況について

生活保護世帯数の推移をみると、平成24年以降約100世帯が増加し、平成28年には284世帯となっています。

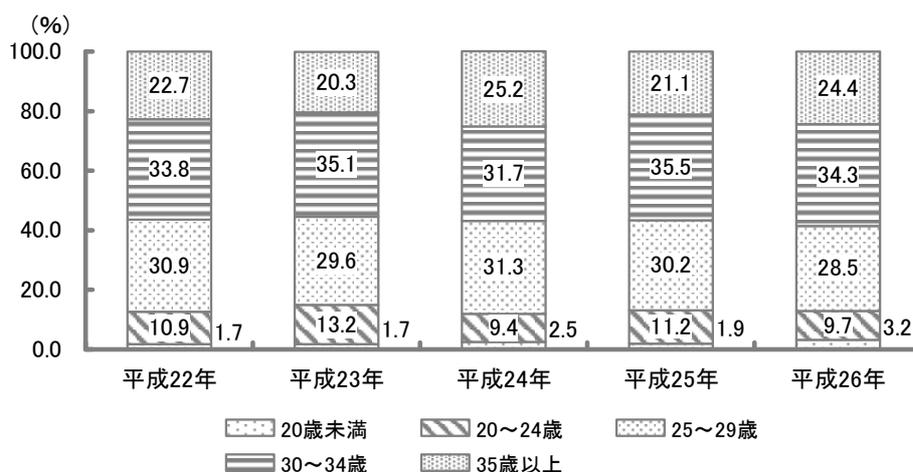
生活保護世帯数の推移



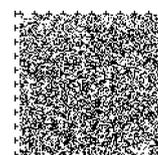
資料：庁内資料（各年3月末現在）

母親年齢階級別出生割合の推移をみると、30歳以上で出産する割合が増加傾向にあります。

母親年齢階級別出生割合の推移



資料：和歌山県保健統計年報



2 アンケート結果から見える現状

(1) 調査の概要

本調査は、平成 22 年度に「男女共同参画に関する第 3 次住民意識調査」を実施してから 5 年が経過した平成 27 年度に、改めて岩出市民の意識変化を調査することにより、家庭や職場、学校等日常生活の様々な場面における、男女共同参画社会についての意識や意見等を把握し、第 4 次プラン策定の基礎資料とすることを目的としています。

①調査対象

【一般】平成 27 年 10 月 1 日を基準日とした、20 歳以上の岩出市民 2,500 人

【子育て世帯】乳幼児健診受診児童保護者、公立保育所年長児・市内小中学生保護者 1,028 人

②抽出方法

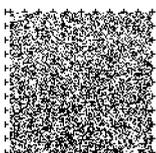
【一般】住民基本台帳に基づく無作為抽出（男女各 1,250 人を年齢層を均等に抽出）

【子育て世帯】平成 27 年 11 月乳幼児健診受診児童保護者（悉皆）、公立保育所年長児保護者（悉皆）、市内各小学 2・4・6 年、中学 2 年保護者 1 クラス抽出（クラス無作為）

③調査方法

【一般】郵送による調査票の配布及び郵便受取人払いによる回収

【子育て世帯】検診場所での手渡し又は児童生徒による持ち帰りによる調査票の配布、郵便受取人払いによる回収



④調査期間

平成 27 年 11 月 6 日～12 月 10 日

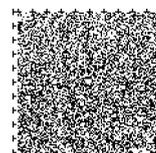
⑤回収結果

【一般】 889 件（有効回収率 35.6%）

【子育て世帯】 367 件（有効回収率 35.7%）

⑥報告書の見方、注意点

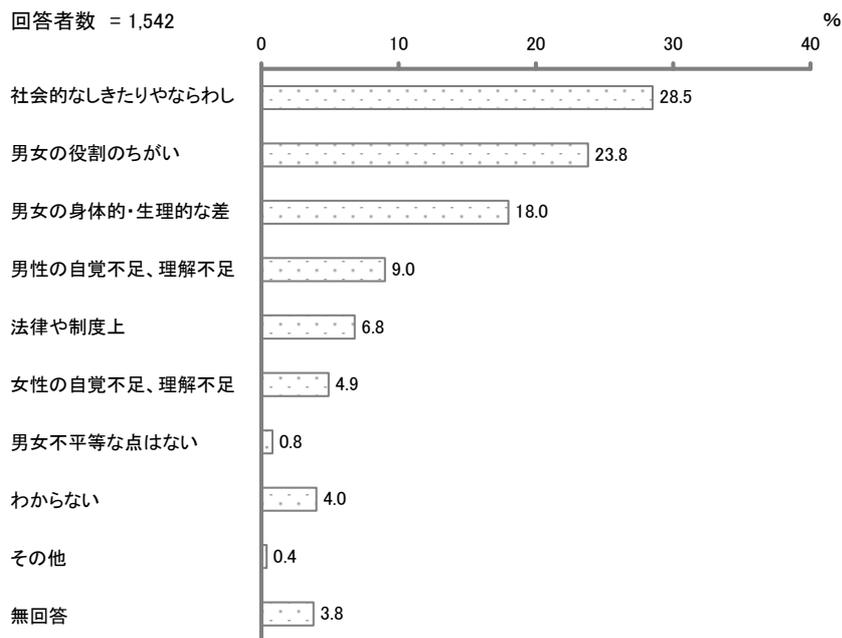
- 1 設問の最後の【一般】【子育て世帯】は、それぞれの結果の調査対象を記しています。
- 2 回答比率は、回答者数を 100%として算出し、小数点第 2 位を四捨五入して表示しています。そのため、内訳の合計が計に一致しない場合があります。また、複数回答の設問の場合は、回答比率（%）の計 100.0%を超えます。
なお、回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることに留意が必要です。
- 3 図表の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、一部簡略化した表現を用いている場合もあります。



(2) アンケート調査結果

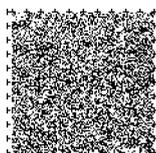
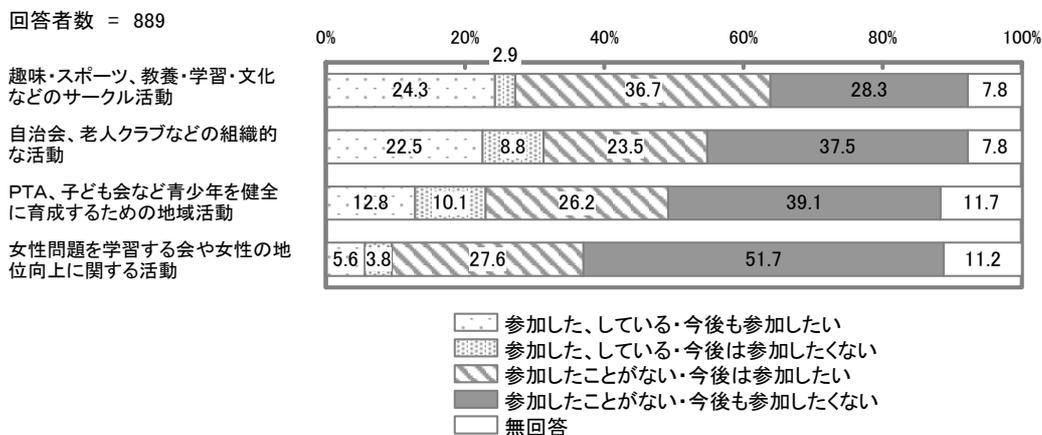
社会における男女不平等の原因をみると、「社会的なしきたりやならわし」「男女の役割のちがいがい」等の割合が高くなっています。【一般】

社会における男女不平等の原因



地域活動の参加状況をみると、女性問題を学習する会や女性の地位向上に関する活動で「参加したことがない・今後も参加したくない」の割合が高くなっています。【一般】

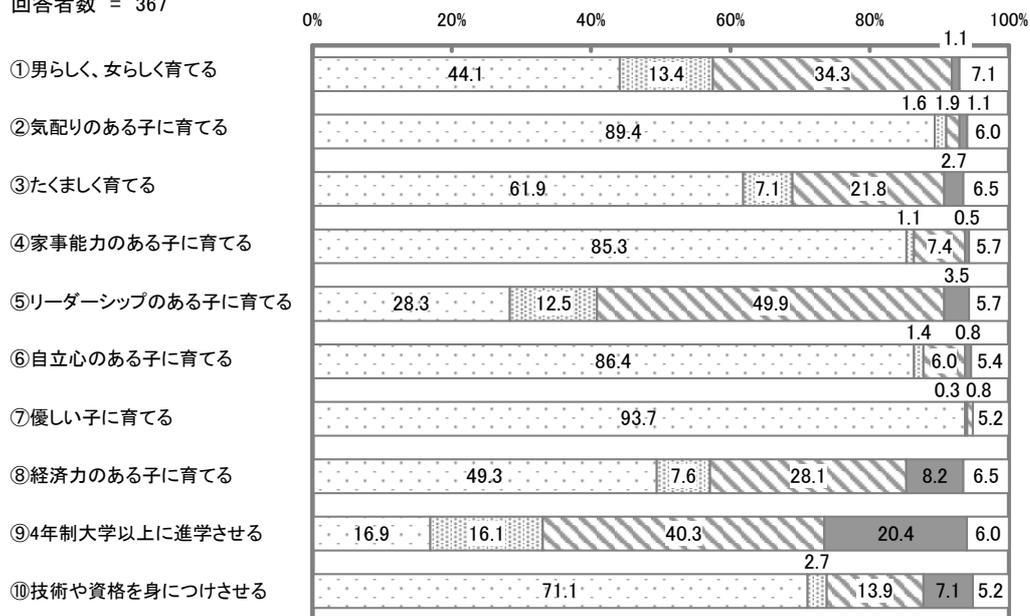
下記地域活動の参加状況



子育てについて最も近いと思う意見をみると、女の子も男の子も⑦優しい子に育てるの割合が最も高くなっています。女の子は、男の子に比べて④家事能力のある子に育てるの割合が高く、⑧経済力のある子に育てる、③たくましく育てるの割合が低くなっています。【子育て世帯】

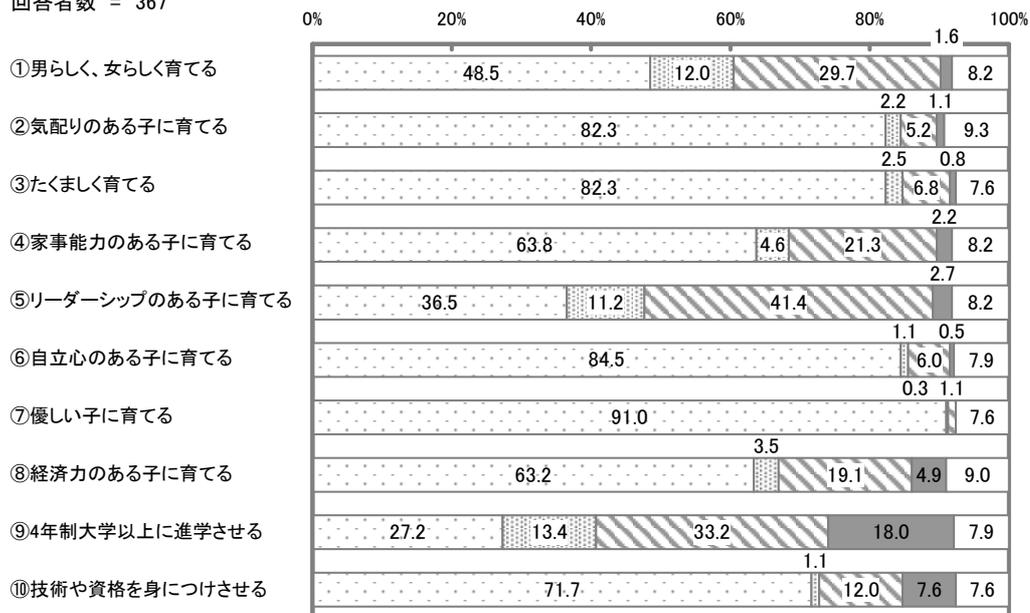
子育てについて最も近いと思う意見【女の子】

回答者数 = 367

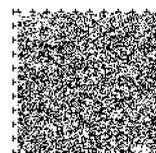


子育てについて最も近いと思う意見【男の子】

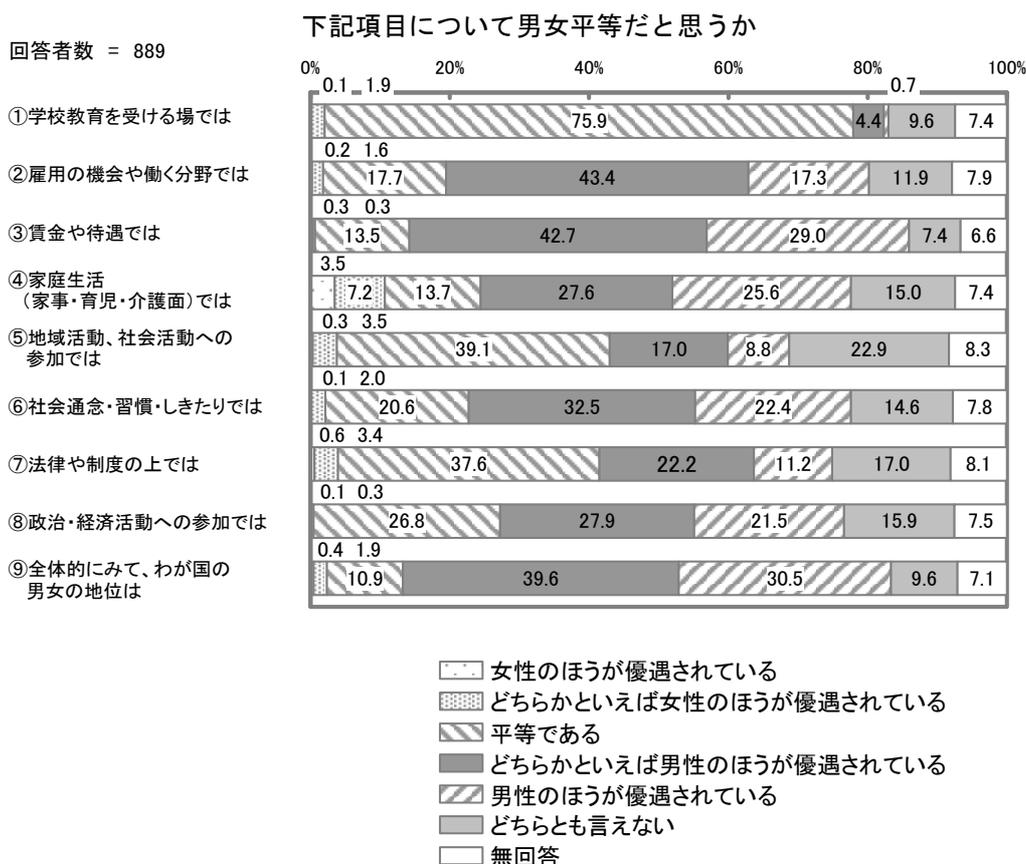
回答者数 = 367



そう思う
 思わない
 どちらでもない
 わからない
 無回答

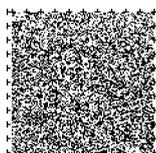
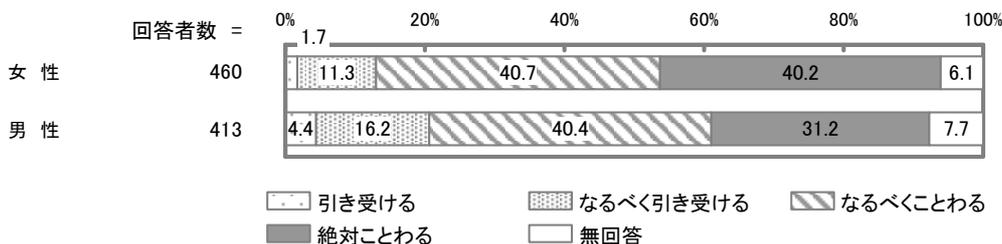


男女平等意識をみると、②雇用の機会や働く分野では、③賃金や待遇では、⑨全体的にみて我が国の男女の地位は、等で「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」と「男性のほうが優遇されている」をあわせた“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。【一般】



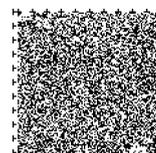
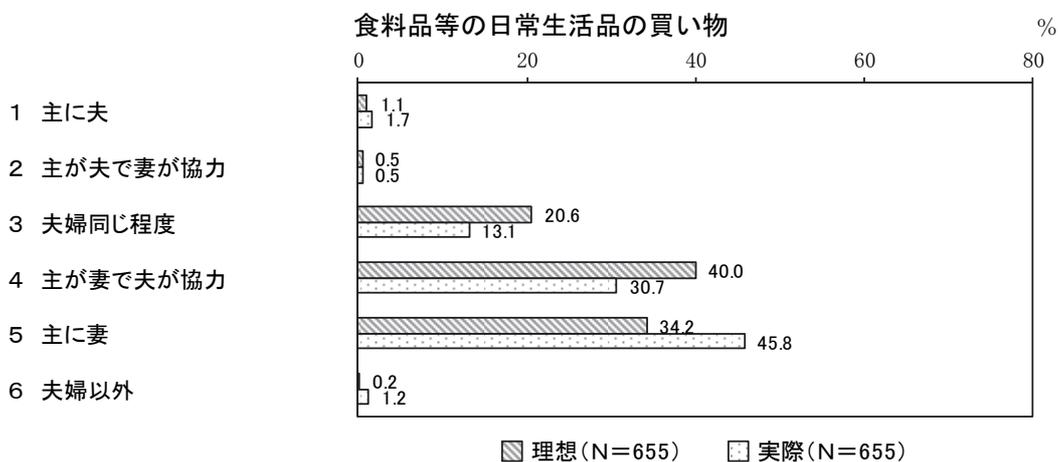
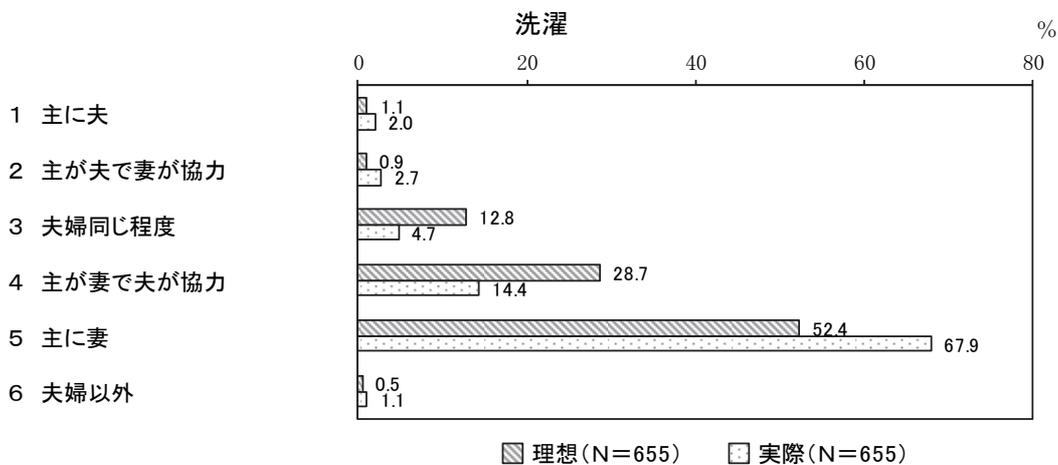
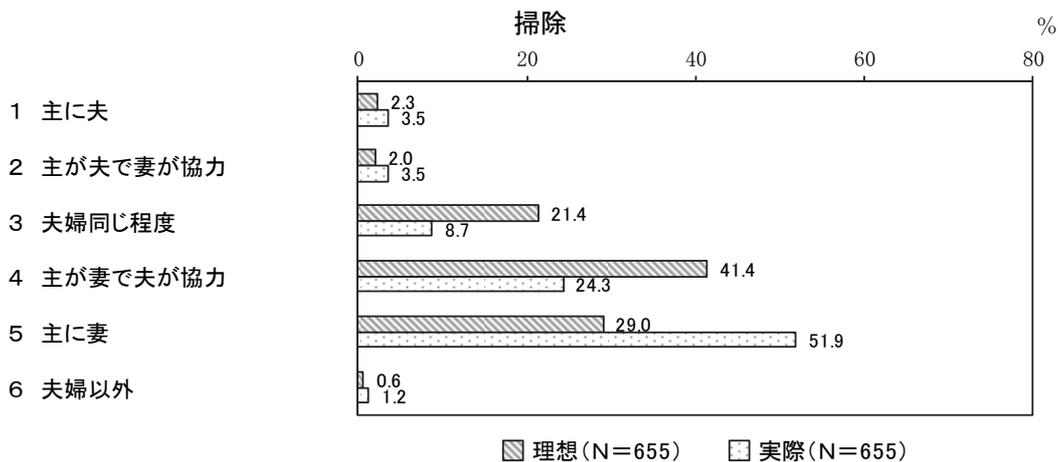
役職、公職への就任や立候補を依頼されたらどうするか、男女の対応をみると、女性は「引き受ける」と「なるべく引き受ける」をあわせた“引き受ける”と回答した割合が低くなっています。【一般】

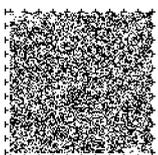
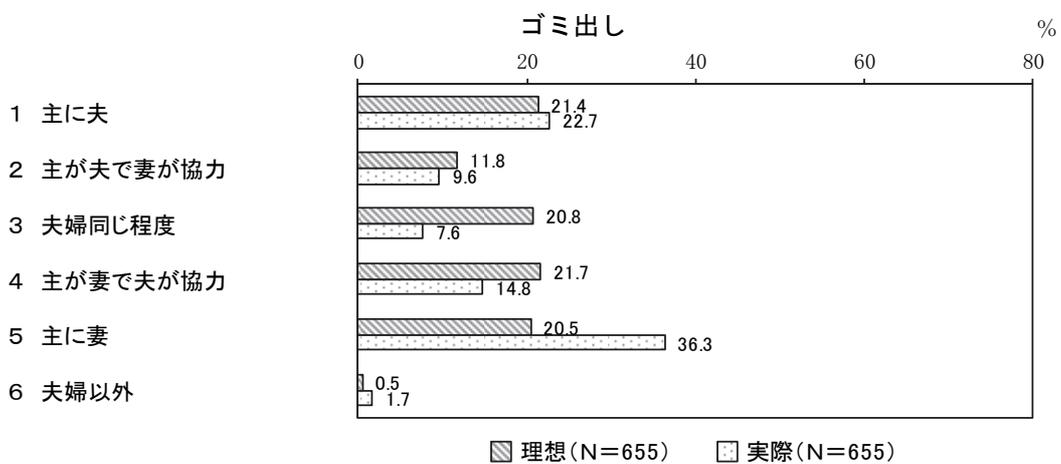
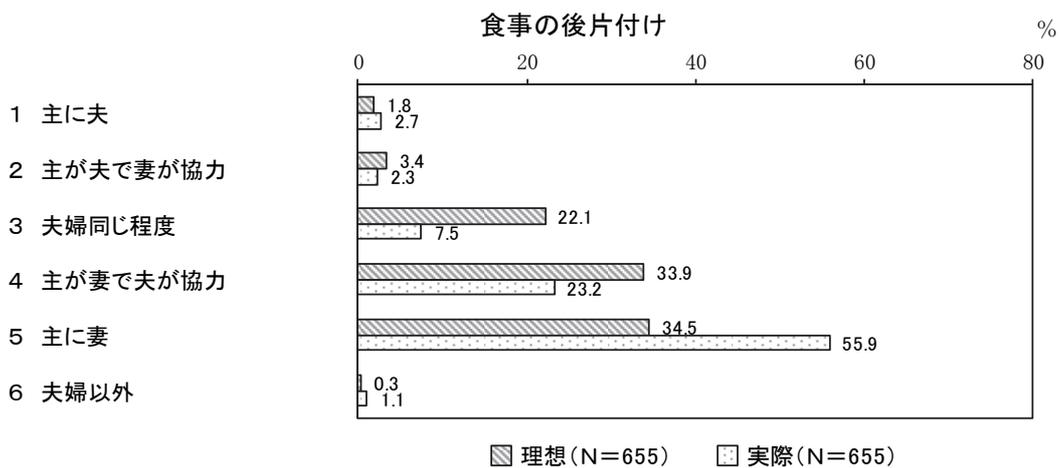
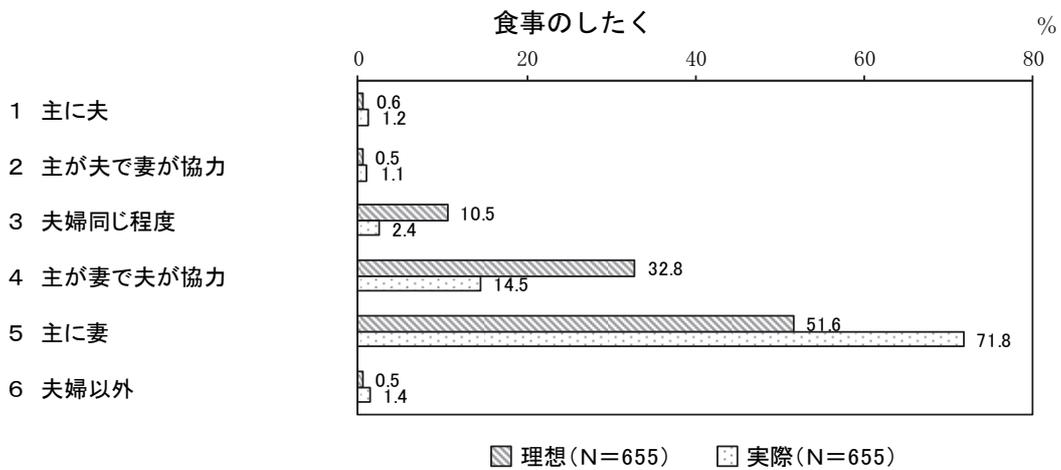
役職、公職への就任や立候補を依頼されたらどうするか

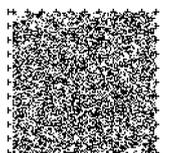
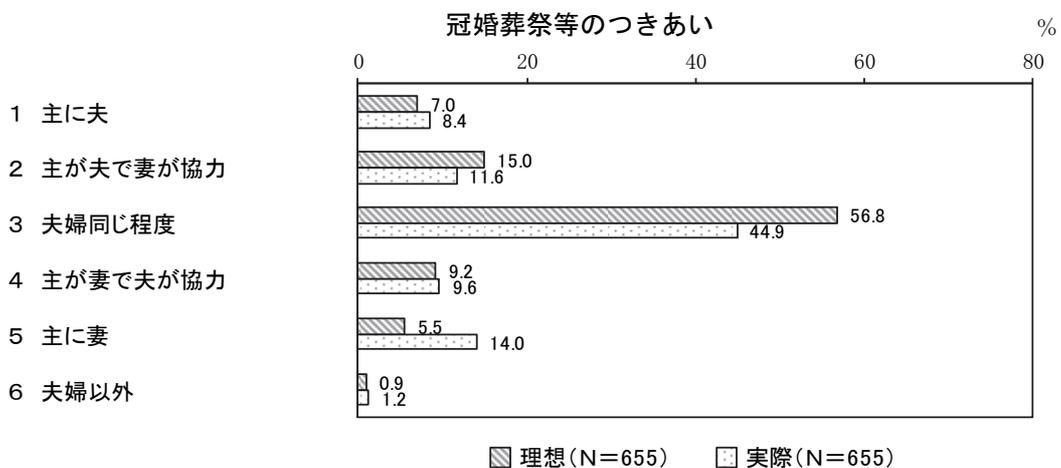
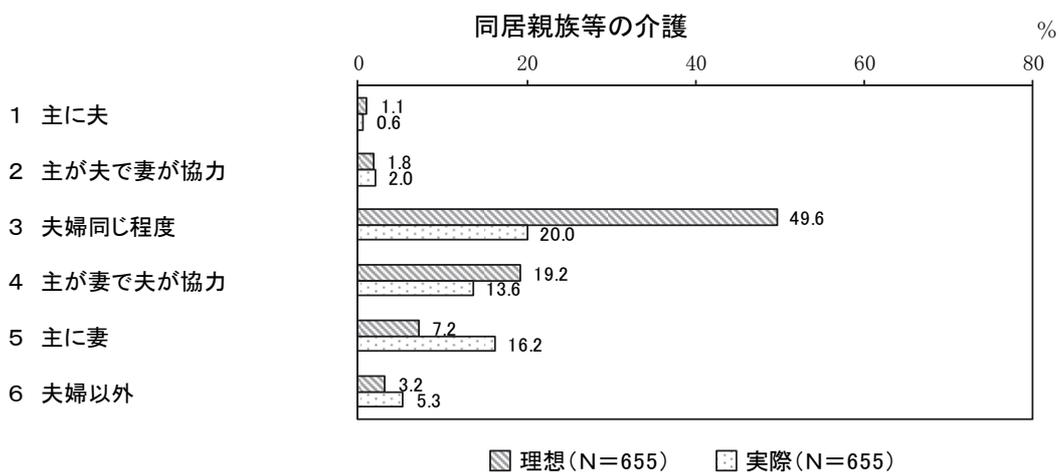
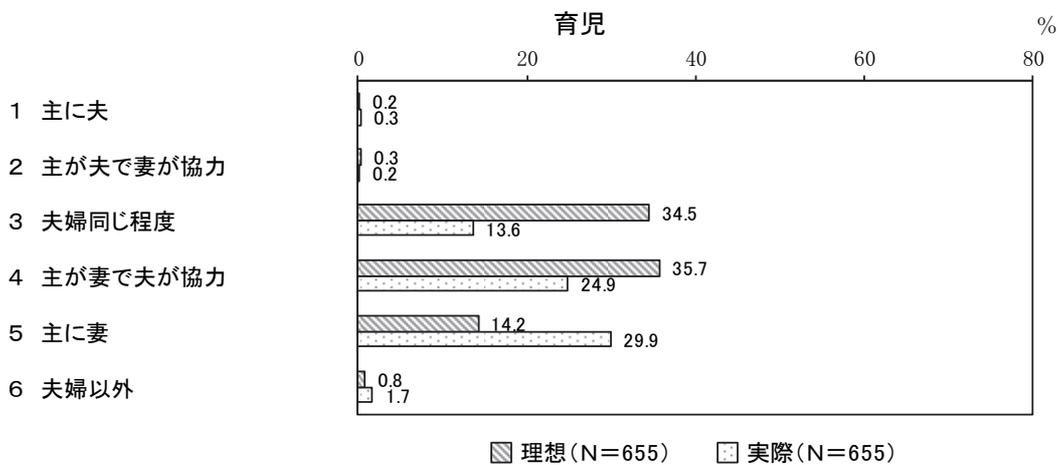


家庭での家事の役割について、理想と実際を比較すると、全ての項目において理想よりも実際に「主に妻」の割合が高くなっています。【一般】

家庭での家事の役割について【理想と実際】

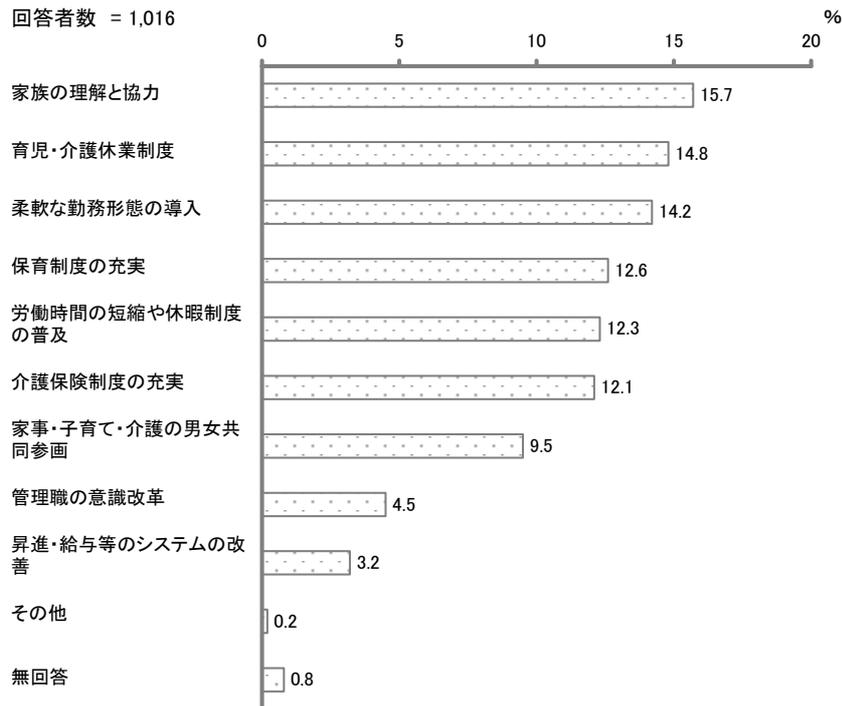






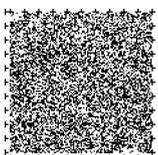
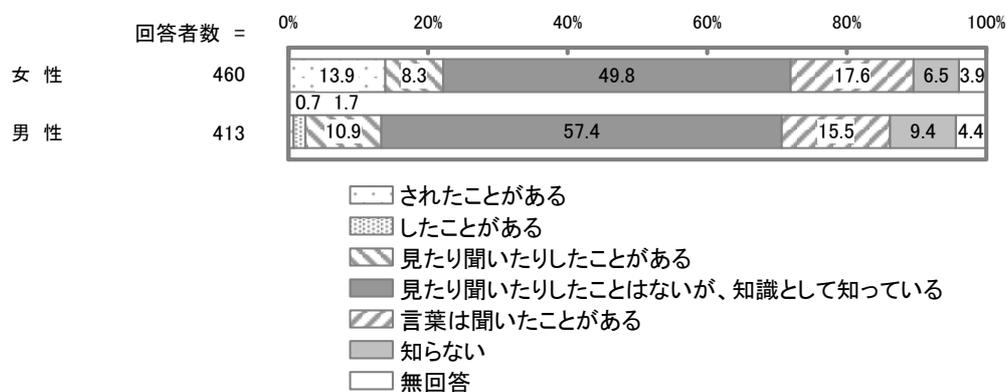
女性が働き続けるために必要だと思うことをみると、「家族の理解と協力」が最も高く、次いで「育児・介護休業制度」「柔軟な勤務形態の導入」の割合が高くなっています。【一般】

女性が働き続けるようにするためには、どのようなことが必要だと思うか



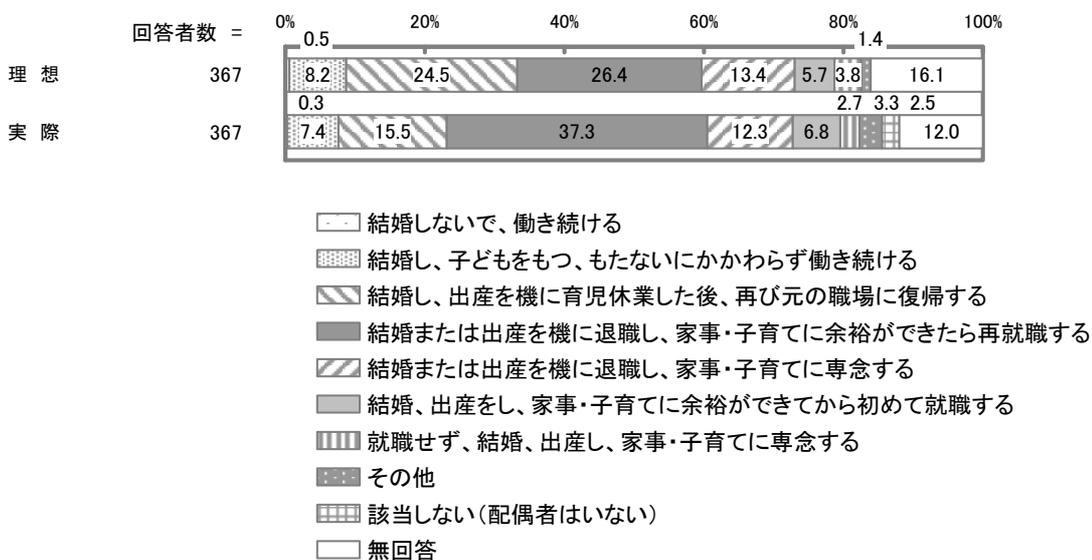
セクシュアル・ハラスメントの経験の有無をみると、男性に比べ女性で「されたことがある」の割合が高くなっています。【一般】

セクシュアル・ハラスメントの経験の有無



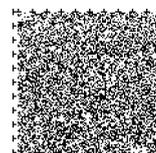
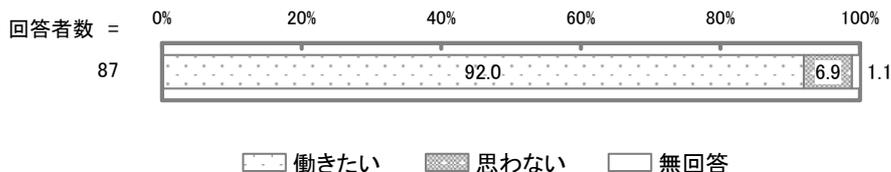
女性の生き方について、理想と実際を比較すると、理想では「結婚し、出産を機に育児休業した後、再び元の職場に復帰する」の割合が高くなっている一方で、実際では「結婚または出産を機に退職し、家事・子育てに余裕ができれば再就職する」の割合が高くなっており、育児休業後の職場復帰が必ずしも実現していないようです。【子育て世帯】

女性の生き方について【理想と実際】



子育て等の理由で、現在仕事をしていない方で、今後適当な仕事があれば働きたいと思うかをみると、「働きたい」の割合が約9割となっています。【子育て世帯】

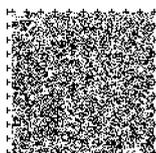
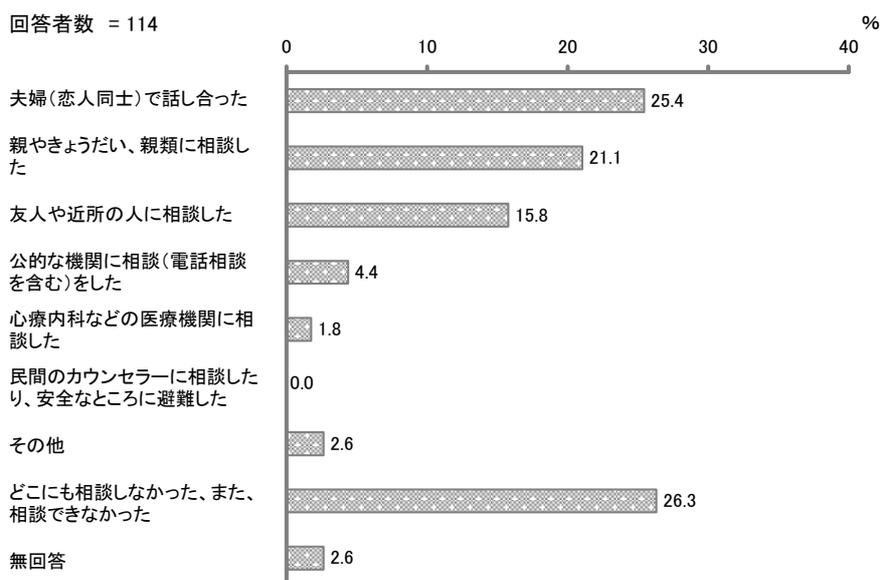
現在仕事をしていない方で今後、適当な仕事があれば働きたいと思うか



暴力を受けたことがある、暴力をふるったことがある人のDVへの対応をみると、「どこにも相談しなかった、また、相談できなかった」の割合が最も高くなっています。【一般】

暴力を受けたことがある、暴力をふるったことがある人のDVへの対応

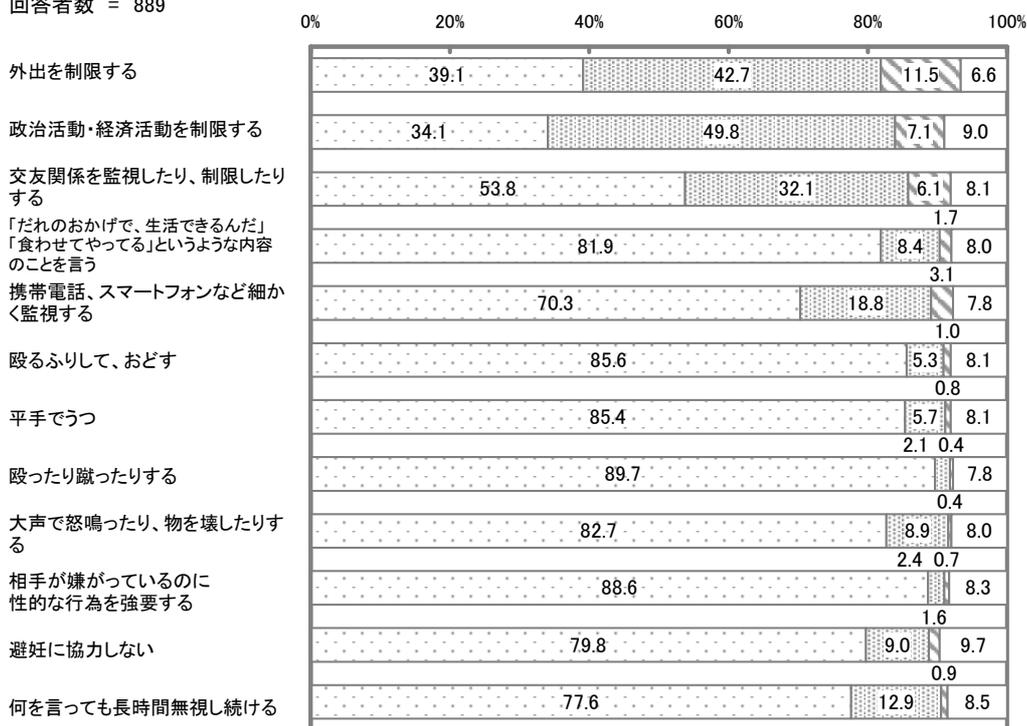
回答者数 = 114



夫婦(恋人)関係における行為についてどのように思うかをみると、殴ったり蹴ったりする、相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する等で「どんなことがあっても許されない」の割合が高くなっている一方で、外出を制限する、政治活動・経済活動を制限することを「許される」行為であるとする割合が「許されない」を上回っています。【一般】

夫婦(恋人)関係における下記行為をどのように思うか

回答者数 = 889

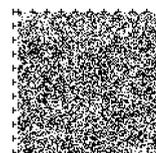


どんなことがあっても許されない

 場合によっては許される

 許される

 無回答



男女共同参画社会に関連する「ことば」や「ことがら」についての認知度をみると、⑫岩出市女性人材リスト、⑩岩出市男女共同参画プラン～ハーモニープラン～、⑨リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康/権利）で「知らない」と回答した割合が高くなっています。【一般】

下記の男女共同参画社会づくりに関連する「ことば」や「ことがら」についての認知度

回答者数 = 889

